

科目名		配電理論			
担当教員		清野 貴久	実務授業の有無	○	
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	36時間
授業概要、目的、授業の進め方	一般用電気工作物の配電理論と配電設計を学習する。				
学習目標 (到達目標)	第2種電気工事士試験士筆記試験の問題が解ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	2020年度版 第2種電気工事士筆記試験模範解答集 電気書院 他				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1、配電方式 単相と三相		方法：テキストとプリントを使って説明。電力で使用される交流の配電方式の種別や用途を学習する。		
2	2、電線太さの決め方		方法：テキストとプリントを使って説明。屋内配線の太さを決める3原則と電圧降下の計算方法を学習する。		
3	3、電力損失		方法：テキストとプリントを使って説明。消費電力の計算問題の演習。		
4	4、引込口配線		方法：テキストとプリントを使って説明。柱上変圧器から造営物への引き込み口の配線を学習する。		
5	5、過電流保護		方法：テキストとプリントを使って説明。短絡電流、過負荷電流と回路の保護方法を学ぶ。		
6	6、地絡保護		方法：テキストとプリントを使って説明。漏電電流と漏電遮断器の用途を学習する。		
7	7、接地		方法：テキストとプリントを使って説明。接地の目的と接地工事の種別を学習する。		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	期末試験		第2種電気工事士筆記試験の配電理論分野の問題を解答できるようにする。	
5 %	15 %	80 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	電気技術者として電気設備の現場に4年係わっていた 第一種電気工事士				